

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 施設のある立地環境や地域性にもよるが、地域とのふれあいが希薄である。地域の団体や住民、子供たちとのふれあいや交流の機会がほとんどない。 | 入居者様が喜ばれる子供たちとのふれあいや交流を通じて地域とのつながりをもつ。 | 職員間で、入居者様がどのような交流を望んでいるのか、どのような形で交流が図れるかを検討する。そして地域の保育園や小中学校に出向き、具体的な交流の図り方やボランティアの協力などについて話し合いをする。 | 3 |
| 2 | 13 | 全職員が参加できるような学びの機会が計画的に確保されておらず、研修に参加できる職員が限定されている。また新任や現任職員の教育・訓練に関するOJTの構築、プログラムの作成がなされていない。 | 職員の研修参加を通して人材育成を図り、ケアの質の向上を目指す。また全職員の希望にできるだけ応えられる参加体制を整え、介護の知識や技術を学ぶことによる充実感や意欲を高める。 | 研修を通じた人材育成の手順や方法を作成し、計画的な研修システム(OJT)を確立する。職員が研修に参加しやすいような勤務シフトにする。地域で開催される研修情報を収集し、職員の参加を呼びかける。 | 3 |
| 3 | 33 | 利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、事業所でできること、できないことの説明(事業所の対応力)が、本人や家族に十分なされていない。支援の在り方についての対応方針の確立と共有が図られていない。 | 早い段階から本人や家族と、重度化した場合や終末期のあり方について、話し合いの機会を設けるなど方針の統一化を図る。また利用者や家族のニーズをくみ取り実現に向けた体制を整える。 | スタッフ間で話し合いの機会を設け、看取り方針を作り上げる。利用者や家族の医療ニーズや意向を確認できる書類の作成及び現状でどこまでの支援ができるかの見極めと指針づくりを行う。 | 6 |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。